



Side-A

*an agile way
of
drinking session*

2006.11.17

XPJUG あまのりょー

これまでのトークス

- 2005.9.3 XP祭り2005
“XPと脳梗塞 XP & stroke”
- 2006.1.13 XPJUG 14th. ユーザ会
“攻略UnitTest with Win32 API”
- 2006.6.29 オブラブ夏イベント2006
“XPと生態学 XP & ecology”
- 2006.10.19 第1回腰リールカンファ
“腰カラビナ そして野帳”

今日は逆に

- ソフトウェア開発の考えを、
それ以外に**適用**してみようかと
- 真っ先に思いついた分野は、、、

香み会

なんで？

- 病気もしたし、以前と同じくらい「呑め」るわけではないけれど
- それでも、参加するのは好き
- ただし、私が経験した事ないので、「合コン」は扱いません

悩み 1

- 最近、なんだか知り合いが増えて夜、会ったりする用事を調整するのが大変
- 「**オトナの約束**」はしない主義だし
- そこで、、、

呑み会マッシュュアアップ

- 複数の違うコミュニティの知己と、一緒に呑み会しちゃう

- 「混ぜ合わせ」で、「新しい価値を作り」だす
→マッシュュアアップの醍醐味

今の同僚

前職での
クライアント

大学時代の友人

☆月△日

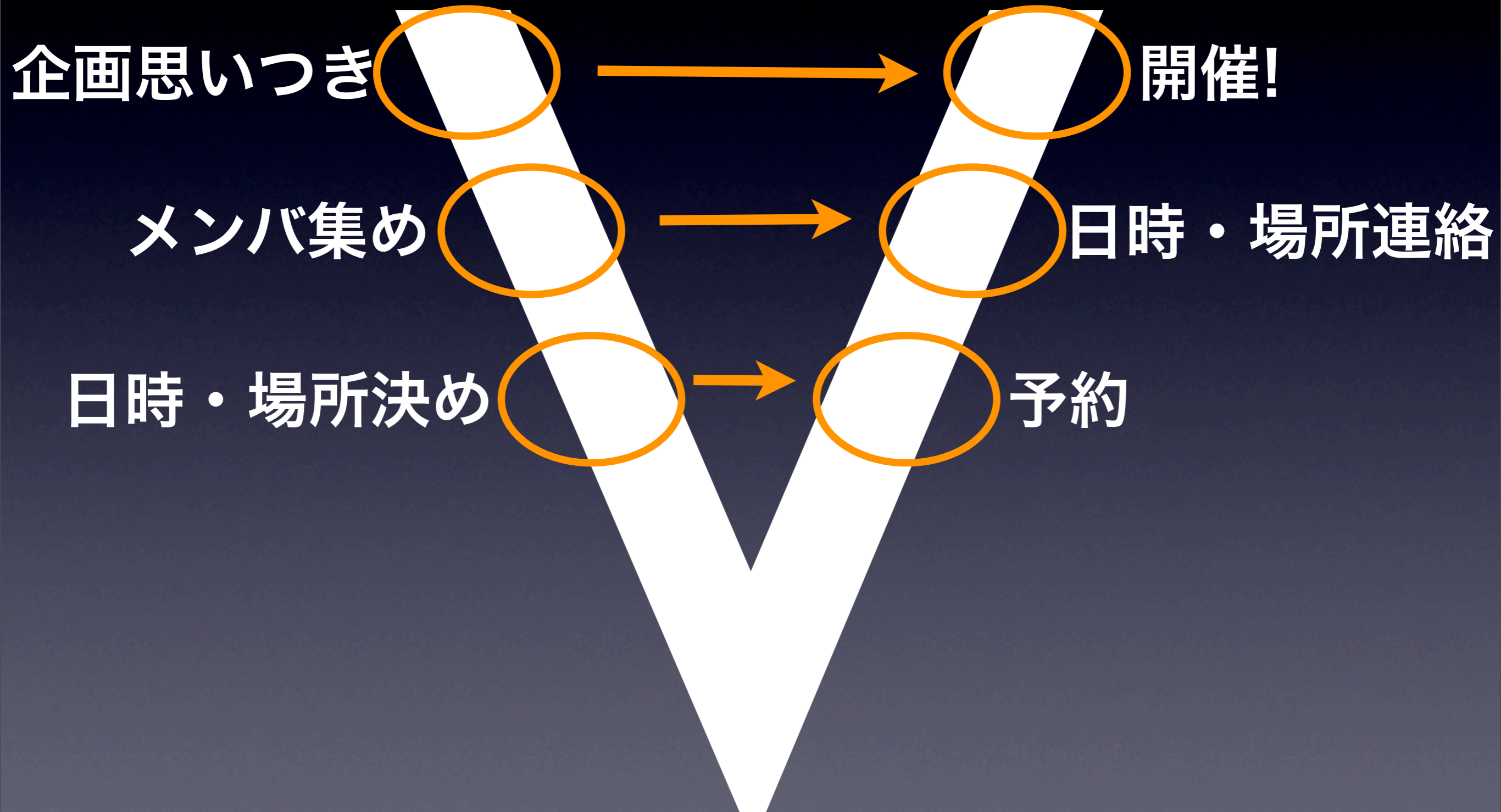
19:00~

新宿XXX

悩み 2

- マッシュアップすると、日程調整が大変
- こんなモデルを考えてみた

呑み会V字モデル



考察

- 一つの V が長いと、調整も大変だし、開催まで時間がかかる
- 日程調整は「各人の都合を合わせる」
- 「都合を合わせる」を「自分の都合」に対して **extream** にしちゃえ
- さらに **iterative** にしちゃえ

iterative な呑み会

- 自分の都合がいい日に、まず開催を決めちゃう
- 後から適当に声をかける
- 集まれそうな人だけ集まる
- その代わりに、小刻みに繰り返し開催する
- extream になると、毎日開催する

VVVVVVVVVVVVVV

WWWWWWWWWW

ちよwww

それwwwwww

呑んだくれの

親父www

悩み 3

- 自分の都合で開催すると
集まったメンバーが満足したか不安
- どう**評価**すればいいのかなあ
- ん、評価基準？

呑み会品質特性

- **機能性**：呑み会のテーマは達成されたか
- **稀少性**：レアキャラに会えたか
- **経済性**：food/drink のコストパフォーマンス
- **到達性**：場所のアレンジは適切か
- **保守性**：高凝集・密結合な集まりだったか
- **再利用性**：このメンツでまた集まりたいか

まとめ

- 呑み会も an agile way で
- マッシュアップしちやえ
- V字を大きくしない
 - 自分がアレンジしちゃう
 - extream な人は毎日
- 品質特性も考慮しよう

Side-B



XP と生態学

XP & ecology

補足編

2006.11.17

XPJUG あまのりょー

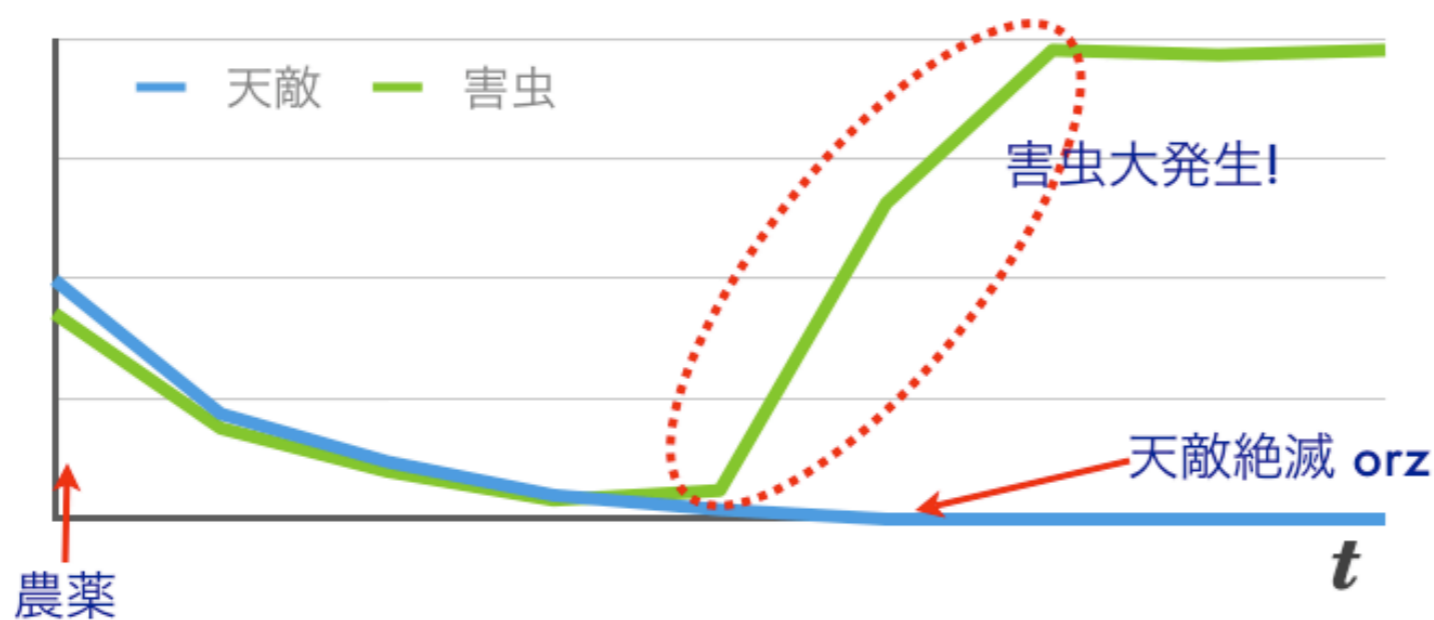
プロジェクト・エコシステム

- 多様性に基づく、**疲弊せず、持続可能**で、**ダイナミックに変化**していくプロジェクトチームの運営。
- 自然生態系の写像。

夏イベントでは「プロジェクト・エコシステム」を提案し、なぜかベストトーカー賞までいただいていたりました。

個体群生態学的な解釈

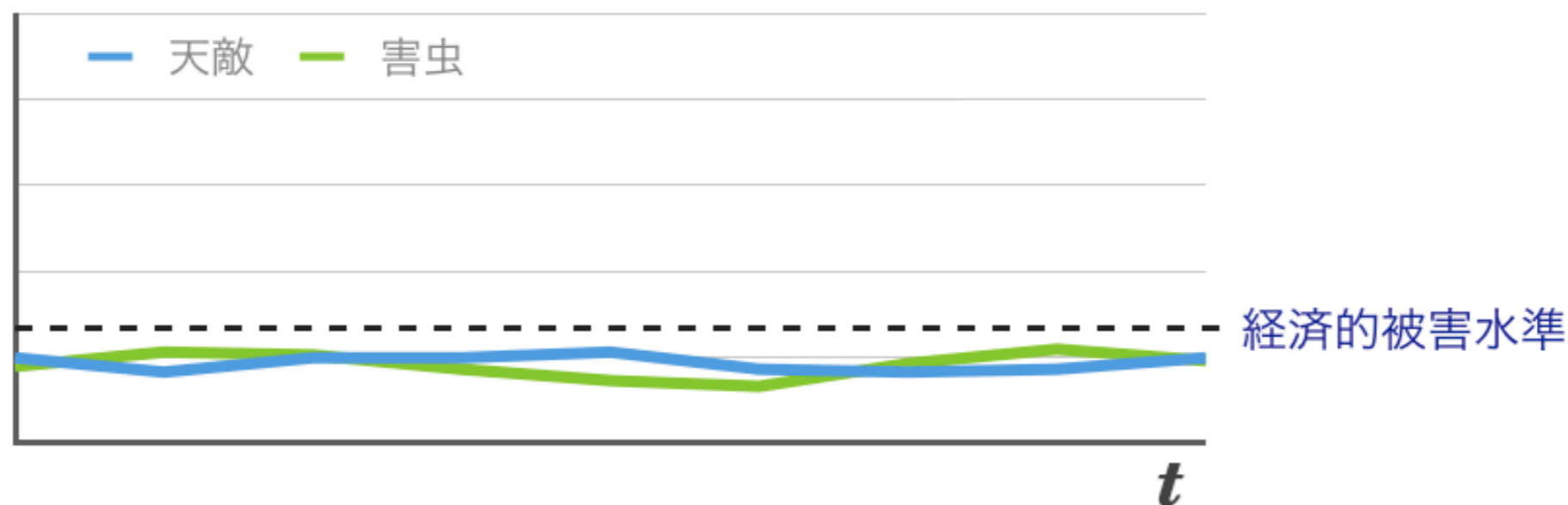
- 天敵生物が先に絶滅する事により、害虫の発生を抑制する要因がなくなることによる。



農薬を使うとかえって害虫が発生する
「リサージェンス」

経済的被害水準

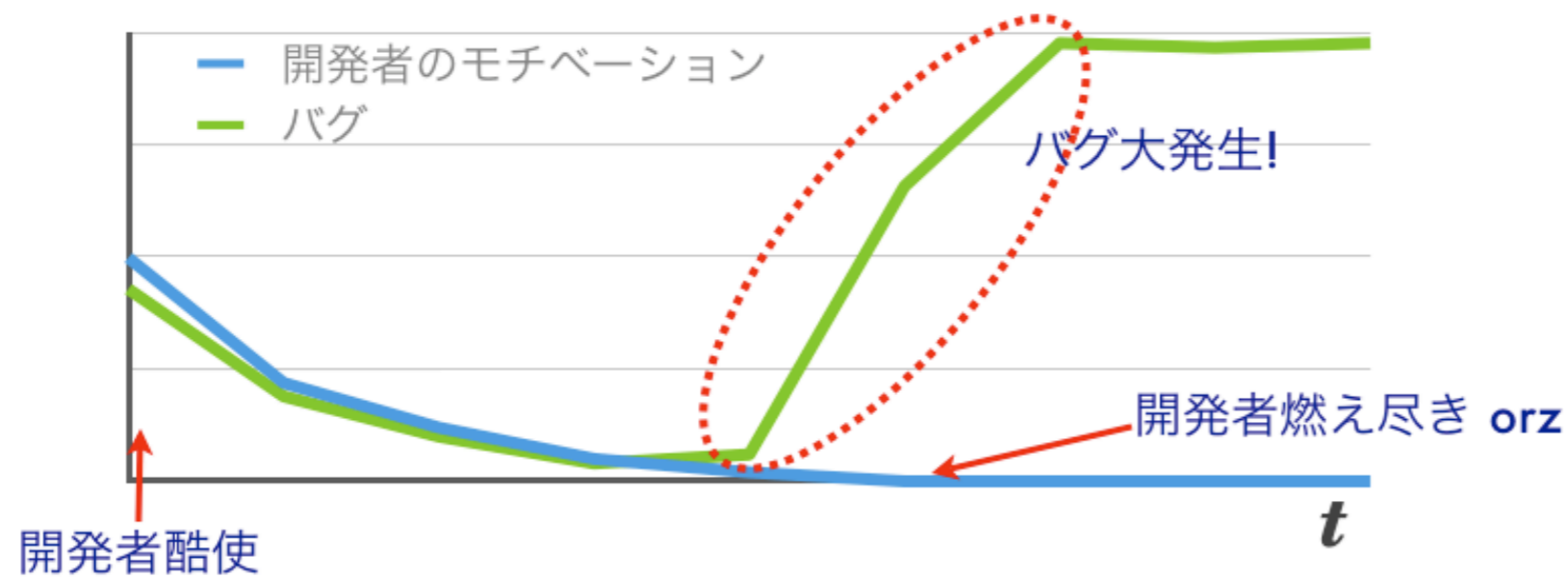
- 天敵と害虫の関係を低密度（経済的被害水準以下）に抑えつつ、**持続させる**ことで、十分な収量を得る。



天敵と共存させて、
あるレベル以下に害虫を抑える

ソフトウェア開発では

- 優秀な開発者が先に燃え尽きる事により、バグの発生を抑制する要因がなくなることによるデスマ化。

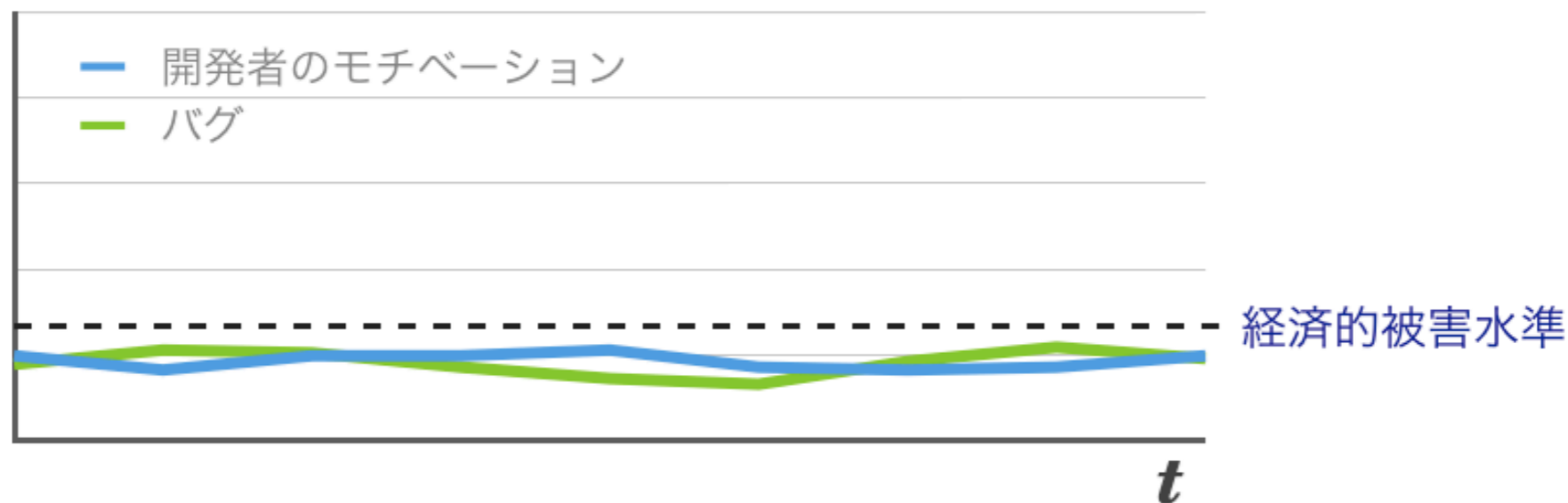


ソフトウェア開発になぞらえた図

懇親会で、次の図について何人かに聞かれた

バグの経済学

- 提供するソフトウェアの価値とバグによるコストのトレードオフを鑑みた**持続可能な**リリース計画。



「バグ」はいいけど、

「開発者のモチベーション」も低く抑えるの？

言い足りなかった事

〜〜

- ❖ もちろん低く抑える必要はない
- ❖ ただし「持続可能」であることがポイント
- ❖ 個々人には波があっても、
チームとして安定する可能性はある
- ❖ アナロジーには限界がある



ご清聴 ありがとうございます
ございました